

Q 1

おたふくかぜワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発生頻度はどれくらいでしょうか。

A

発生頻度としては、MMRワクチン接種後の無菌性髄膜炎の頻度が1,200人に1人（0.08%）程度といわれています。神経症状への関心の程度や髄液検査を行う頻度にも影響されるので、正確な頻度を出すことは困難です。症状は比較的軽く、後遺症は残りません。MMRワクチン接種後の無菌性髄膜炎発症率の0.08%は決して低い率とはいえませんが、自然感染により発症する髄膜炎の発生率が約4～6%程度であることを考えれば、ワクチンにより予防した方が髄膜炎の頻度は低いと考えられます。日本外来小児科学会で単味のおたふくかぜワクチン接種後の調査が行われましたが、その報告によると、ワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発生率は約2,100人に1人とされています。

実施にあたっては、この点に関する十分な説明が必要です。